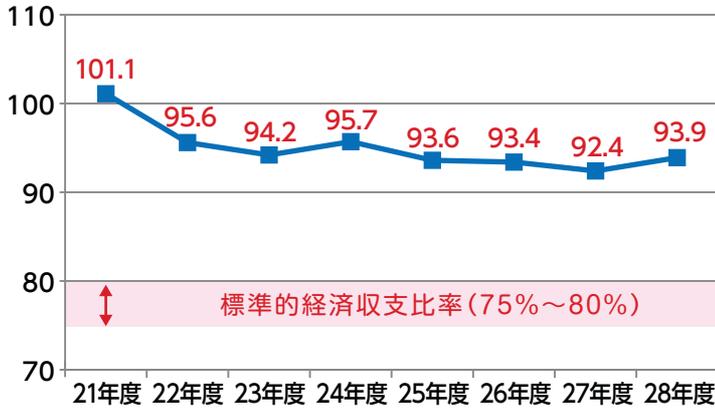


# 平成 28 年度

# 決算 6 会計 を 認定

経常収支比率の推移



決算特別委員会において、平成28年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額26億676万円、歳出総額257億496万円とし、歳入歳出差引額は、9億180万円となっております。

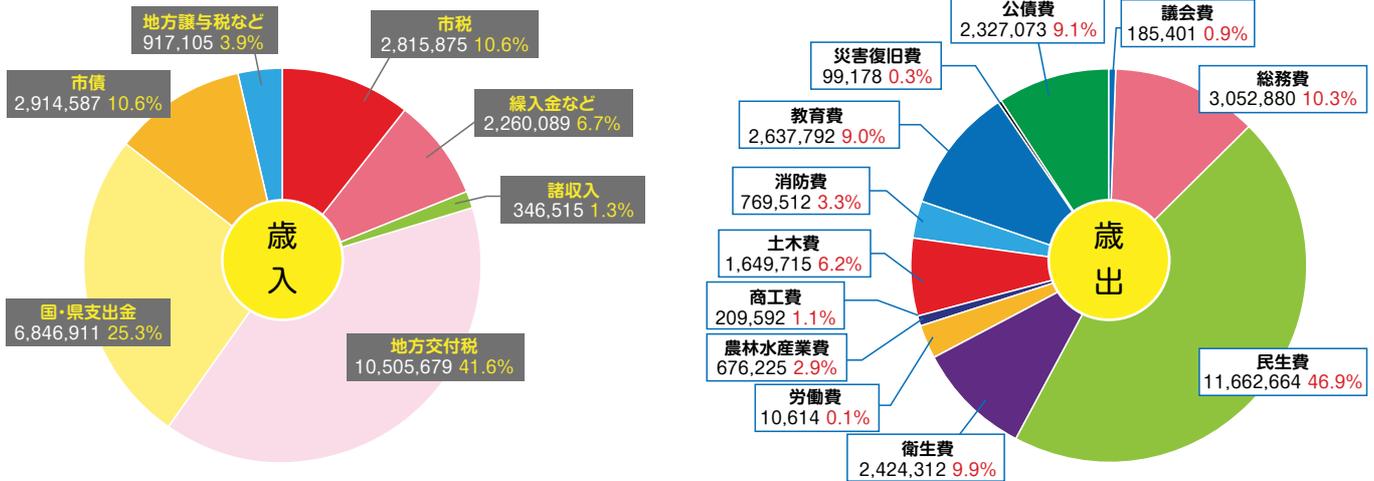
市の財政状況としては、市税などの自主財源が20・4%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が79・6%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、93・9%と1・5ポイント上昇し前年度より若干悪化しました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

## 一般会計決算の状況

(単位:千円)



## 各会計の決算額

会計	歳入	歳出	差引額	
一般会計	266億 676万円	257億 496万円	9億 180万円	
国民健康保険事業特別会計	61億 7,730万円	67億 1,990万円	△5億 4,260万円	
後期高齢者医療特別会計	5億 8,511万円	5億 7,608万円	903万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,031万円	3,915万円	116万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	52億 2,690万円	50億 4,831万円	1億 7,859万円
	サービス事業勘定	7,877万円	7,877万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億 2,440万円	5億 9,762万円	1億 2,678万円
	資本的収支	1億 5,091万円	3億 2,383万円	△1億 7,292万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。